

AER The Acoustic People®



Dual mix 2

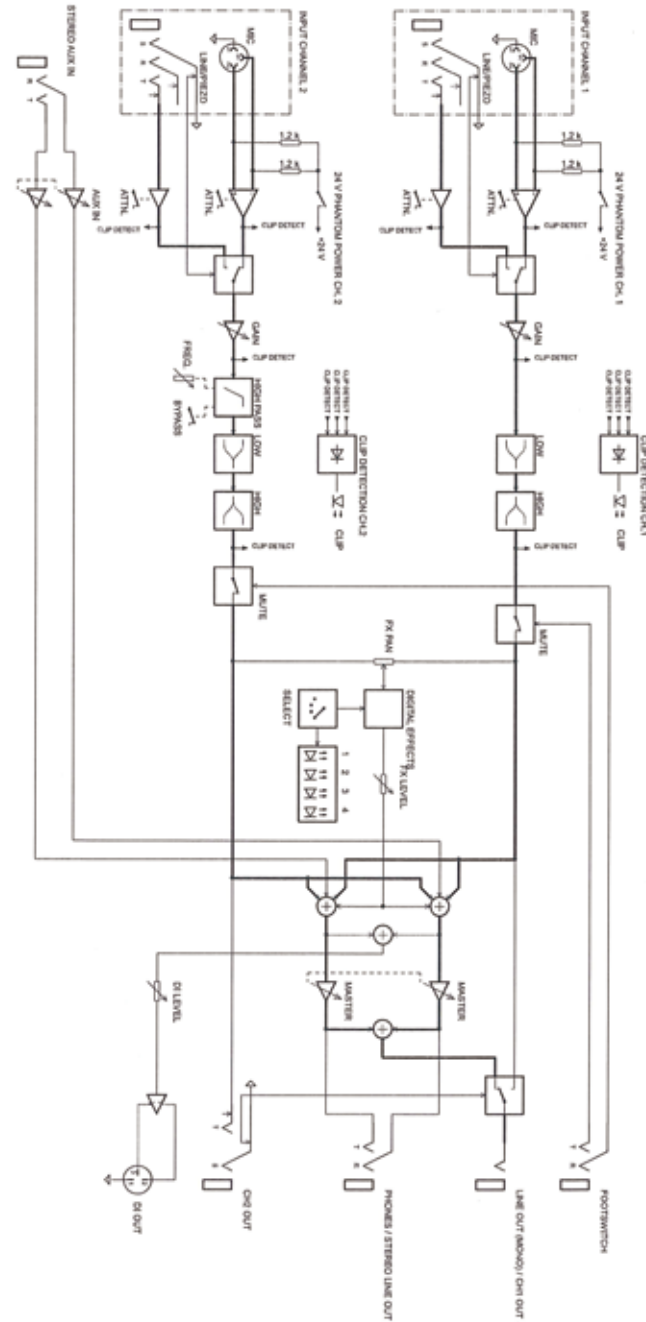
取り扱い説明書

ご使用に際して

本製品をご使用になられる前に必ず取扱説明書をよくお読み下さい。以下の警告及び注意事項には必ず従って下さい。又、本取扱説明書は大切に保管して下さい。

	<p>警告 以下の記載事項に反して誤った取扱いをすると、人体に重大な影響(死亡、重傷等)が発生する可能性があります。誤った取扱いは、火災・感電の原因となりますので、くれぐれも行わないで下さい。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ●本製品はAC100V専用です。それ以外の電源では使用しないで下さい。 ●電源コードの取扱いには十分ご注意ください。重い物を載せたり、無理な負荷をかけたり、引っ張ったりしないで下さい。 ●本製品を可燃物又は、暖房機器等の熱源の近くでは使用しないで下さい。 ●本製品を濡らしたり、水をかけたりしないで下さい。又、雨・霧・雪等が発生している場合、海辺、水辺等でのご使用には特に注意が必要です。 ●本製品の上に、水の入った容器、花瓶、飲料、薬品等や小さな金属類を置かないで下さい。これらが内部に入りますと大変危険です。
	<ul style="list-style-type: none"> ●本製品をご使用の際は、必ず付属の電源コードをお使い下さい。それ以外のものをお使いになりますと、重大な事故が発生する場合がございます。 ●煙が出たり、変な臭いや異音がある等の異常がある場合、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて下さい。
	<ul style="list-style-type: none"> ●本製品を分解したり、改造しないで下さい。 ●AER正規代理店である弊社以外で修理・交換をされますと1年間の保証が無効となります。
	<ul style="list-style-type: none"> ●本製品の使用中に何らかの異常が発生した場合はすぐに使用を中止して下さい。その際には電源スイッチを切り電源プラグをコンセントから抜いて下さい。その後、お買い上げになられた販売店へご相談下さい。
	<p>注意 以下の記載事項に反して誤った取扱いをすると、人体及び器物に重大な影響(傷害、器物破損等)が発生する可能性があります。誤った取扱いは、火災・感電・製品破損の原因となりますので、くれぐれも行わないで下さい。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ●本製品を設置する際には、以下のような場所には置かないで下さい。 <ul style="list-style-type: none"> ・本体の落下する恐れのある不安定な場所 ・湿気やほこりの多い場所 ・気温が極端に低く、又は高くなる場所 ・通気性の悪い場所 ●本製品の接続ケーブルが人の通り道や物の下に置かれないようご注意ください。 ●本製品を強い電力を持つトランスフォーマー、発電機、ライト等の機器の近くに置かないで下さい。 ●本製品の通気の為に、機体の周りに十分な空間を確保して下さい。 ●本製品をスタンドに取付けて使用される場合、その取扱には十分ご注意ください。
	<ul style="list-style-type: none"> ●プラグを差し込む前に、本製品の電源がOFFになっていることを確認して下さい。 ●本製品に、オーディオ機器・楽器等を接続された後に全てが正しく接続されている事をご確認下さい。 ●電源スイッチを入れる前に、本製品のボリュームが最小になっている事をご確認下さい。 ●アースに関しては可能であれば接続することをお奨めします。 ●本製品のお手入れをされる際は、全てのプラグを抜いてから行って下さい。アルコール、化学薬品等は使用せず、水気が本製品の中に入らないよう注意し、乾いた布等でお手入れをして下さい。
	<ul style="list-style-type: none"> ●電源が入っている状態で、接続機器を抜き差ししないで下さい。機体破損の原因となります。 ●落雷の際、又は長時間ご使用にならない場合は、電源プラグをコンセントから抜いて下さい。 ●電源プラグを抜く際は、電源コードを引っ張らずに、必ずプラグ部分を持って行って下さい。
	<ul style="list-style-type: none"> ●音が歪んでいる状態で使い続けた場合、機体が破損したり異常に高温になる事がございますのでご注意ください。
	<ul style="list-style-type: none"> ●本製品の使用中に何らかの異常が発生した場合はすぐに使用を中止して下さい。その際には電源スイッチを切り電源コードをコンセントから抜いて下さい。その後、お買い上げになられた販売店へご相談下さい。
	<ul style="list-style-type: none"> ●廃棄する際には必ず地域の条例に従って下さい。

ブロック図



スペック

ラインインプット (コンボジャック / モノラル標準フォン)

最大ゲイン: +34dB
アッテネーター: -18dB
入力インピーダンス: 2.2M Ω
S/N 比: 103dB (A-weighted)
等価ノイズレベル: -109dB (A-weighted)
周波数特性: 20Hz ~ 20kHz (± 1 dB)
THD+N: 0.1% 以下 (1kHz)

マイクインプット (コンボジャック / XLR)

最大ゲイン: +62dB
アッテネーター: -30dB
入力インピーダンス: 1.2k Ω
S/N 比: 96dB (A-weighted)
等価ノイズレベル: -136dB (A-weighted)
周波数特性: 20Hz ~ 20k Hz (+1/-2dB), 40Hz ~ 20kHz (± 1 dB)
THD+N: 0.1% 以下 (1kHz)
ファンタム電源: 24V (チャンネルごとにオン / オフ可能、ショート保護回路搭載)

ハイパス (ローカット) フィルター (ch 2 のみ)

カットオフ周波数: 50Hz ~ 300Hz (連続可変)
タイプ: パターワース 12dB/oct.
※オン / オフスイッチ搭載

AUX インプット (ステレオミニフォン)

入力インピーダンス: 25k Ω
S/N 比: 103dB (A-weighted)

ラインアウトプット (モノラル標準フォン)

出力インピーダンス: 47 Ω
最小負荷インピーダンス: 2k Ω
※アンバランス、AUX イン信号ミックス、エフェクト信号ミックス、ただし
“ダブルプリアンプ”モード時は AUX イン信号とエフェクト信号はミックスされません

ヘッドフォンアウトプット / ステレオラインアウト (ステレオミニフォン)

出力インピーダンス: 100 Ω
最大出力パワー: 20mW/32 Ω
※アンバランス、AUX イン信号ミックス、エフェクト信号ミックス

DI アウトプット (バランス XLR)

基準出力レベル: -7-27dBV (連続可変)
出力インピーダンス: 100 Ω
最小負荷インピーダンス: 1k Ω

トーンコントロール (アクティブ EQ)

LOW: ± 10 dB @100Hz (シェルビングタイプ)
HIGH: ± 13 dB @10kHz (シェルビングタイプ)

エフェクト: 4 タイプ

※ショートプリディレイリバーブ、ロングプリディレイリバーブ、リピートディレイ、コーラス

フットスイッチ: デュアルタイプ (TRS 標準フォン)

※チャンネル独立のミュート (T=ch 1、R=ch 2、S=グラウンド)

電源: 24VDC パワーサプライ付属 (消費電力: 5W)

外形寸法: 65 x 105 x 135mm (HxWxD)

重量: 540g

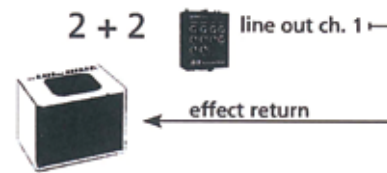
※仕様は予告なしに変更することがあります。



アコースティック楽器のサウンドを知り尽くした AER 社が開発した、マイクロフォン、またはインストゥルメント / ラインに対応した 2 チャンネルのプリアンプです。4 種類のエフェクト、ラインアウト、DI アウト、ヘッドフォンアウト、AUX 入力を装備しています。PA へ AER サウンドを直結させるステージ用プリアンプとして、外部入力を持つアンプに追加してチャンネル拡張ツールとして、また AUX 入力を使った練習用ヘッドフォンアンプやソロパフォーマンス用ミキサーとしてもお使いいただけます。今回の新バージョンでは“ダブルプリアンプ”モードにより、2 つの独立したプリアンプとしても使用可能です。

アプリケーション例

◆ アンプチャンネルの拡張として



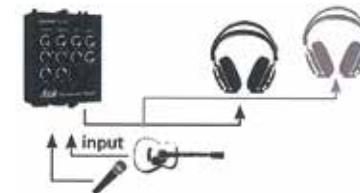
例えば AER Compact 60 アンプのエフェクトリターン端子に接続することで、合計 4 チャンネルのアンプとして使用可能 (一般的なアンプのエフェクトリターンや AUX インに接続できます)。

◆ PA のためのプリアンプ / DI ボックスとして



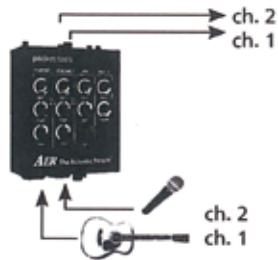
プリアンプを内蔵した DI ボックスとして PA 卓へ接続 (DI アウトの出力レベルは可変)。

◆ 練習用ヘッドフォンアンプとして



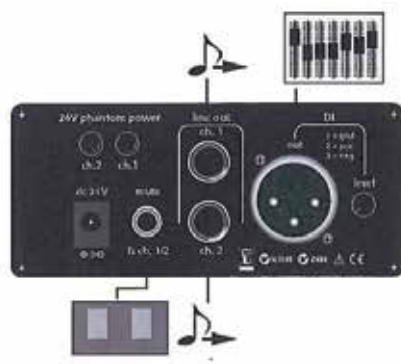
ステレオミニジャックの AUX インに練習曲を入力して、ギターと歌とミックスして、ヘッドフォンでモニター。

◆ 2つの独立したプリアンプとして



新機能の“ダブルプリアンプ”モードにより、2つの独立したプリアンプとして使用可能。チャンネル2にはハイパスフィルターを搭載しているの、より詳細な音づくりができます（このモードの際はラインアウトにエフェクトはかかりません）。

接続端子



◆ channel 1 & 2

XLR と標準ジャックのコンボタイプ。XLR で接続した場合は mic モードとなり、マイクロフォンを接続できます（24V ファンタム電源供給可能）。標準フォーンで接続した場合は line モードとなり、楽器（インストゥルメント/ラインレベル）を接続できます。また channel 2 のみハイパスフィルター（カットオフ周波数：50Hz～300Hz の連続可変）が搭載されており、オン/オフスイッチも装備されています。

◆ aux in

ミニステレオ（TRS）ジャックで、MP3 プレイヤーなどを接続します。練習やソロパフォーマンスに最適です。

◆ phones

ステレオラインアウト兼用のミニステレオ（TRS）ジャック。ヘッドフォンでモニターする場合に使います。AUX インからの信号やエフェクトもミックスされます。

◆ line out

TS 標準ジャックが2つあり、アンプやラインミキサーなどに接続します。
Ch. 1 のみにプラグを挿した場合、チャンネル1と2がミックスされた信号が出力されます。この場合はAUXインからの信号やエフェクトもミックスされます。
Ch. 1 と Ch. 2 の両方にプラグを挿した場合、チャンネル1と2がそれぞれ個別に出力され、つまり独立した2つのプリアンプとして動作します。この場合はマスターセクションの前から信号が出力されるので、AUXインからの信号やエフェクトはミックスされません。
いずれの場合も master ノブで出力レベルを調節します。

◆ DI out

XLR タイプ（2番ホット）。一般的にPAミキサーに接続します。端子の側にある level ツマミで出力レベルを調節します。AUXインからの信号やエフェクトもミックスされます。

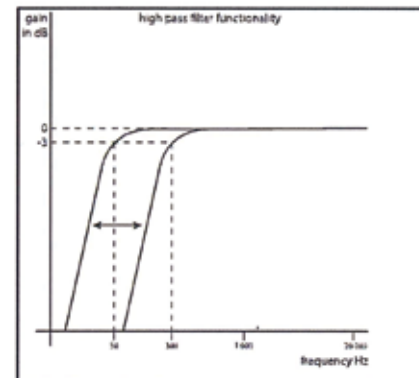
◆ foot switch

標準 TRS ジャックのダブルタイプのペダル（フットスイッチ）を接続して、各チャンネルのミュートを行えます。楽器の持ち替え時などに便利です。Tip 側でチャンネル1を、Ring 側でチャンネル2のミュートを操作します。

◆ dc 24V

付属している24VDCパワーサプライを接続します。接続すると電源が入ります。

コントロール



◆ channel セクション（チャンネル個別に調節します）

◇ gain

チャンネルの入力レベルを調節します。clip ランプが赤く点灯しないように調節してください。

◇ high

シェルビングタイプのEQで、10kHzを±13dBの範囲で調節します。

◇ low

シェルビングタイプのEQで、100Hzを±10dBの範囲で調節します。

◇ Attn.

入力ソースの出力に合わせて切り替えます。アッテネーターをオンにすると、ラインの場合は-18dB、マイクの場合は-30dBのアッテネーションが効きます。

◇ 24V phantom power

XLR 接続の場合、リアパネルのこのボタンを押すことでファンタム電源を供給します。チャンネル独立して設定できます。なおファンタム電源を受け付けない機器もあるので、使用には注意してください。

◆ efx セクション

◇ level

エフェクト全体の量を調節します。チャンネルごとのエフェクトはpanと組み合わせて行います。

◇ pan

エフェクトがかかる量のバランスをチャンネル間で取ります。

◇ select

エフェクトのタイプを4つのプリセットから選択（1：ショートリバブ、2：ロングリバブ、3：リピートディレイ、4：コーラス）します。

◆ aux in セクション

◇ level

aux in の入力レベルを調節します。

◇ master

line out の出力レベルを調節します。